解　説

第13章　　　賃金・労働

賃金、労働時間、雇用の動き

現金給与総額、総実労働時間、常用雇用指数とも増加

毎月勤労統計調査地方調査によると、令和5年平均では、現金給与総額は34万2,896円、名目賃金指数は104.6で前年に比べ1.6％増加、物価変動を取り除いた実質賃金指数は98.7で前年に比べ2.3％減少しました。夏季賞与(令和5年6月～8月に支給されたもの)の１人平均支給額は45万8,771円で前年に比べ0.6％増加、年末賞与(令和5年11月～令和6年１月に支給されたもの)は47万9,067円で前年に比べ2.4％増加しました。

総実労働時間は月間133.1時間(年間1,597時間)、総実労働時間指数は101.1で前年に比べ0.0％と同水準でした。

常用雇用指数は、調査産業計では101.1で前年に比べ0.6％、製造業では99.5で前年に比べ1.0％増加しました。

※各指数は、令和2年平均を100としています。

名目賃金及び実質賃金の動き(前年比) 　　　 　 労働時間の動き(前年比)

 -調査産業計(事業所規模5人以上)- 　　　　　　　　 -調査産業計(事業所規模5人以上)-

[第13章8、10表より]

[第13章2、3表より]

常用雇用指数の動き(前年比) 　 　 　 賞与の平均支給額の動き(前年比)

　　　　 　-(事業所規模5人以上)-　　　　　　　　　 　 -調査産業計(事業所規模30人以上)-

[第13章11表より]

[第13章12、13表より]

完全失業者数、完全失業率

完全失業者数は2千人増加、完全失業率は0.1ポイント上昇

　労働力調査によると、令和5年平均では、労働力人口(15歳以上人口のうち就業者と完全失業者を合わせたもの)は482万４千人で、前年に比べ2万1千人増加しました。男性は261万2千人、女性は221万2千人で、前年に比べ男性は5千人、女性は1万5千人増加しました。

　完全失業者数は15万3千人で、前年に比べ2千人増加しました。男性は9万1千人、女性は6万2千人で、前年に比べ男性は1千人、女性も1千人増加しました。

　完全失業率は3.2％で、前年に比べ0.1ポイント上昇しました。男性は3.5％、女性は2.8％で、男性、女性ともに前年比同率でした。

完全失業者数、完全失業率

労働力人口



[第13章14、15表より]

[第13章19表より]

15歳以上人口の就業状態

女性の就業増加が全体を押し上げ、有業者数、有業率とも増加・上昇

就業構造基本調査によると、令和4年（10月1日現在）の15歳以上人口について、就業状態別にみると有業者は465万900人、無業者は311万5,200人となっており、前回調査(平成29年)に比べ有業者は17万9,800人の増加、無業者は16万5,500人の減少となりました。このうち、有業者について、男女別にみると男性は249万9,100人、女性は215万1,800人で、前回調査に比べ男性は2万人、女性は15万9,800人、それぞれ増加しました。

有業率は59.9%で、女性の上昇（52.7%、前回比3.6ポイント増）に伴い、前回調査に比べ2.2ポイント上昇しました。

有業者数、有業率

[第13章22表より]